



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月28日

上場会社名 株式会社 クレオ 上場取引所 東
 コード番号 9698 U R L <https://www.creo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柿崎 淳一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 鳥屋 和彦 T E L 03-5783-3560
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	10,514	1.2	674	21.4	692	20.5	460	22.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 468百万円 (24.3%) 2025年3月期第3四半期 376百万円 (△21.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	59.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年3月期	9,854	7,394	75.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 7,394百万円 2025年3月期 7,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	51.00	51.00
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	52.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 P 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3 Q	8,585,688株	2025年3月期	8,585,688株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3 Q	843,611株	2025年3月期	848,601株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3 Q	7,740,518株	2025年3月期 3 Q	7,837,990株

(注) 当社は「株式給付信託（J-ESOP）」及び「株式給付信託（BBT）」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P 3 「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2026年1月28日（水）にTDnet「適時開示情報閲覧サービス」及び当社Webサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いている中、一方で米国の通商政策の影響による不透明な状況が続いております。このような経済環境の中、当社グループが属するITサービス市場においては、生産性向上、競争力強化、およびコスト削減を目的とした省人化やデジタル化に向けたIT投資需要が堅調に推移いたしました。また、人口減少や働き方の多様化といった社会構造の変化、および人的資本を重視する潮流の中で、HR分野へのIT投資においても引き続き堅調であると認識しております。

このような環境の中、当社グループは中長期の経営ビジョンである「VISION2030 持続的成長への変革と創造」と2025年3月期を初年度とする3ヶ年の中期経営計画を策定し、最終年度である2027年3月期に売上高180億円、営業利益15億円、営業利益率8.3%、ROE12%超を目指し、同計画においても引き続きソリューションサービス事業を成長事業と位置づけ、ストックビジネスの拡充や人財の強化を推進し、グループ全体ではグループ総合力の強化、投資の拡大などに注力することで持続的成長に向けた事業基盤の再構築に尽力してまいります。

<DX推進の取り組みについて>

当社グループは、持続的な成長と競争力強化に向けたDX（デジタルトランスフォーメーション）を重要な経営戦略と位置づけております。具体的には、「デジタル技術（AI含む）を利用した働き方、開発体制など社内DXの推進」および「自社製品・サービスとの連携による顧客のDXに対する提供価値最大化」を主な目的として掲げております。この目的達成に向けた具体的なDX戦略として、「顧客体験の革新・向上」「業務プロセスの効率化」「新たなビジネスモデルの創出」「サイバーセキュリティの徹底」「組織文化の変革」の5点を重点施策として推進しております。これらの進捗を測定する指標として、デジタル関連研修の受講率やスキル保有者比率に加え、成長事業である「ソリューションサービス事業の売上」をDX推進の重要な指標として位置づけ、顧客のDX支援を通じた提供価値の最大化に努めてまいります。なお、これら一連の施策は、2025年4月に新設した「DX推進部」を核とした推進体制のもと、全社横断的に展開しております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの状況は、売上高は前年同期比で1億20百万円増加、営業利益は前年同期比で1億18百万円増加となりました。経常利益は前年同期比で1億18百万円増加し、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比で84百万円増加となりました。

以上の結果、売上高105億14百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益6億74百万円（前年同期比21.4%増）、経常利益6億92百万円（前年同期比20.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億60百万円（前年同期比22.5%増）となりました。

※セグメント別の経営成績につきましては、「2026年3月期 第3四半期 決算補足説明資料」をご覧下さい。

<https://www.creo.co.jp/ir/ir-library/financial-results/>

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億49百万円の減少となりました。

これは主として、現金及び預金、仕掛品が増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことによるものです。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億11百万円の増加となりました。

これは主として、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定が増加したことによるものです。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億8百万円の減少となりました。

これは主として、契約負債が増加した一方で、未払法人税等及び賞与引当金が減少したことによるものです。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、10百万円の増加となりました。

これは主として、株式給付引当金が増加したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、60百万円の増加となりました。

これは主として、配当金の支払いがあった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、2025年5月8日付「2025年3月期決算短信」において公表いたしました数値より変更はございません。

連結業績予想には、リスクや不確実性を含んでおり、そのため様々な要因の変化により、大きく異なる結果になる可能性があります。通期の各連結会計期間においては、以下のようなリスクがあります。

当社グループの多くの事業セグメントは、売上高及び利益が第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に特に集中する傾向があります。両連結会計期間における売上高及び利益計上が計画通りに推移しない場合、連結業績予想と実績が大きく乖離する可能性があります。

個別の事業セグメントに関する固有のリスクについては下記の通りです。

ソリューションサービス事業については、受注案件規模が大型化する傾向にあり、受注、検収の時期がずれ込む場合や、プロジェクトの不採算化が生じた場合などには予想と実績が大きく乖離する可能性があります。

受託開発事業については、事業の性質上連結会計年度末に検収が集中しており、検収の進捗により売上計上時期が次期にずれ込む可能性があります。また、当社の主要顧客である大手ITベンダーがシステムのユーザーである官公庁、企業などから計画通りの受注を行えない場合には、当社に対する発注が行われず、予想と実績が大きく乖離する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	5,621	5,899
受取手形、売掛金及び契約資産	2,555	1,879
商品及び製品	4	5
仕掛品	114	266
その他	203	199
流动資産合計	8,499	8,250
固定資産		
有形固定資産	250	228
無形固定資産		
ソフトウエア	354	398
ソフトウエア仮勘定	139	204
その他	0	0
無形固定資産合計	494	602
投資その他の資産		
投資有価証券	133	138
繰延税金資産	272	268
その他	342	366
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	748	773
固定資産合計	1,492	1,604
資産合計	9,992	9,854

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	448	424
未払金	314	389
未払法人税等	268	96
契約負債	263	382
賞与引当金	572	261
役員賞与引当金	9	—
その他	512	626
流動負債合計	2,389	2,180
固定負債		
株式給付引当金	154	169
資産除去債務	100	98
その他	13	11
固定負債合計	268	279
負債合計	2,658	2,460
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,149	3,149
資本剰余金	698	698
利益剰余金	4,421	4,467
自己株式	△937	△931
株主資本合計	7,332	7,384
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	9
その他の包括利益累計額合計	1	9
純資産合計	7,334	7,394
負債純資産合計	9,992	9,854

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	10,393	10,514
売上原価	8,043	8,043
売上総利益	2,350	2,470
販売費及び一般管理費	1,794	1,795
営業利益	555	674
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	0	0
受取保険金	3	—
助成金収入	12	17
その他	7	4
営業外収益合計	23	25
営業外費用		
支払利息	0	0
投資事業組合運用損	1	6
支払手数料	2	—
その他	0	0
営業外費用合計	4	7
経常利益	574	692
税金等調整前四半期純利益	574	692
法人税等合計	199	232
四半期純利益	375	460
親会社株主に帰属する四半期純利益	375	460

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	375	460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	7
その他の包括利益合計	0	7
四半期包括利益	376	468
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	376	468
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	ソリューション サービス事業	受託開発事業	システム運用・ サービス事業	サポート サービス事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	3,529	2,106	1,493	3,263	10,393
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	13	43	326	387
計	3,533	2,119	1,537	3,590	10,781
セグメント利益	479	362	209	200	1,253

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,253
全社費用及び利益（注）	△697
四半期連結損益計算書の営業利益	555

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、経営指導料及び研究開発に付随する収入等であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	ソリューション サービス事業	受託開発事業	システム運用・ サービス事業	サポート サービス事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	3,825	1,888	1,641	3,158	10,514
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	4	37	337	380
計	3,826	1,893	1,678	3,496	10,894
セグメント利益	645	339	214	157	1,355

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,355
全社費用及び利益（注）	△680
四半期連結損益計算書の営業利益	674

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び経営指導料等であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	186百万円	180百万円